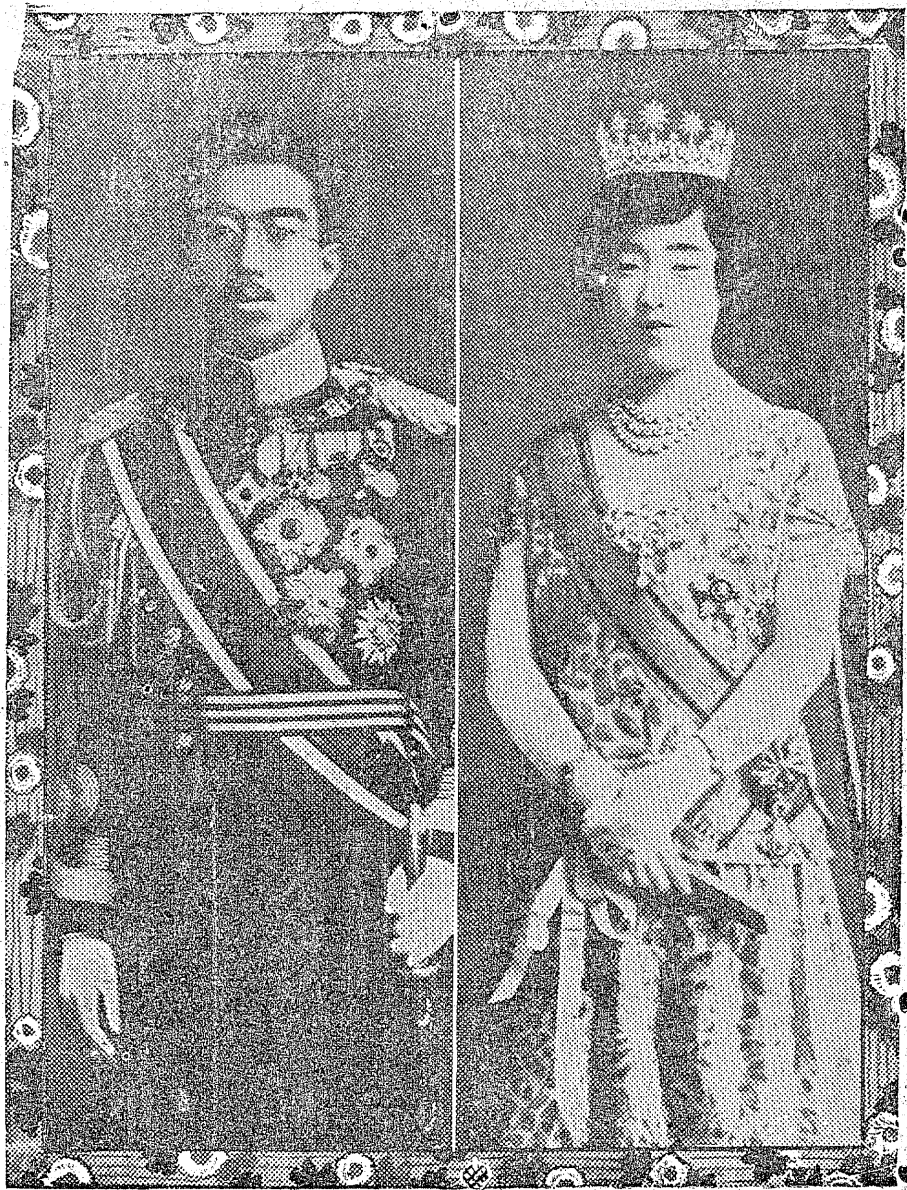


福總新聞

每月一日一回
 定 一 枚 十 錢 壹 月
 價 一 十 錢 郵 稅 五 錢
 廣告料 雜 報 欄 五 十 錢 報
 場 所 指 定 二 十 錢
 發行兼編輯印刷人 造
 市 島 範
 福 島 縣 平 町 仲 町 三
 發 行 所 福 總 新 聞



る 奉 し 祝 を 典 大 御

福島市長 小杉善助 川部村長 兒玉萬平	大原病院長 大原 一 勿來村長 大平陸四郎	福島市 西形吉次郎 小野新町々長 宗像 德彌	福島縣農工銀行 白石禎美 四ツ倉町々長 杉原新伍 助役 若波千之助	縣會議員 鈴木辰三郎 四倉電氣會社 新妻 盛	縣會議員 大内 一郎 平町々會 議員 一同	縣會議員 古川 傳一 代議士 比佐 昌平	縣會議員 山崎 吉平 小名濱町々長 鈴木 榮 助役 高木 保	縣會議員 野崎 滿藏 鹿島村長 荒川 忠治 新妻 贊雄	縣會議員 鷺 清昇 泉村長 中村 立躬 助役 上遠野新重郎 書記 志賀清五郎	大内倉吉										
山崎與三郎 農工銀行平支店 安部六三郎	不動澤炭礦礦業所 杉山今朝吉 杉山炭礦々業所內 內 鄉 村	內 鄉 村 坂田 須治	好間村 古河炭礦好間 礦 業 所	入山採炭株式會社 湯本礦業所 木村德三郎	湯本町會議員 小野 晋平	小名濱町 大平 千秋	植田町會議員 馬 上守一	植田郵便局長	土木請負業 荒川 銀次	赤井村 吉田 佐内	赤井村 筒井 彖次	赤井村 鎌倉金三郎	赤井村 古市喜三郎	赤井村長 根本 忠松	川瀨炭礦 川瀨 幸治 赤井村	內 鄉 村 大勝 貞治	平町仲町 佐藤傳之助	中山組代表者 中山吉之助 川部村	赤井村 松崎 松太	赤井村 松本 金治

業績が中野氏の手腕による幕下と云ふ輩を擁する時、彼今度は如來尊安置の菩提所。

和洋銅鐵金物店
釜屋商店
諸橋久太郎

平製氷の獨占的横暴の態度に漁業組合へ望む

來春需用期を一エボツク

前途有望の勿來製氷

現在小名濱、江名、豊間が常である。四ツ倉、久ノ濱等の各漁場漁業上に於て最も經驗ある而してこれらもこの地方のみに於て使用せらるる冷水は其有力者の談によれば平製氷の又我慢するとしても小名濱製氷株式會社の一手に占水の氷價は全く他の漁場に名江名四ツ倉等に他港より有する所その利益の多き於ける供給水價に比し甚だ入り来る廻船に對しては甚だは論ずる迄もなしとして獨不廉のもので近海稀に見るだ氣の毒のものあり廻船が占事業が往々顧客に對する高價のものであると一々統水を積み込むに對しては漁業に於て専横を極むる例計を示しての話である夏季業者中の有志は氷價の幾分も動かない平製氷の如き最需用期にあつては水價一を補助して以て他港の製氷も將にその一例である。貫目十錢より或る時は十二價額と同一程度に表面を装然しながら他に製氷會社儲の高位を唱へ、需用者於ては廻船が石の巻等に逃避せは如何なる我儘勝手な態度か供給を拒絶するの態度を聞く漁業家中の有志は全を執られても需用家として持するで魚類を腐敗せしむる椽の下力持ち同様に平製氷は只泣き寝入りより外に勝せねばならぬ状態である。職性を支拂ひつゝあるは所詮泣く兒と地頭には勝せねばならぬ状態である。一面嗤笑に堪へざるも共にてぬの譬へに甘まんするよ。而かも小名濱の製氷工場一面同情に値するものであり外にはない有様であるこれ如き需用期には一日の製氷一面同情に値するものであり對しては小名濱の漁業組合能率に到底需用に應じ切れる廻船が寄港するものと否に合でも常に問題となつてこざる盛況を來たす事あれば於はその漁場の盛衰に關するが獨占的態度の改善に對所謂精製製造デク／＼の氷の重大な問題で氷代の補償し種々要議的の陳情や紹介を提供する、例も尠なからには替へられざるものがあ談を遂げた事も數次であつす持久力に於て普通堅氷のるので己むなく多少の犠牲たもの何んと云つても事實半を持し能はざるに氷價に支拂ふも廻船の多からむが獨占たる以上社交的言辭至つては堅氷と同様十錢乃事を希望しつゝある心理をの約束や挨拶は實質に於て至十二錢の高値を要求する村度すれば實際感謝すべき何等の効果を收むべくもあゝに至つては其の損害は蓋である。如き平製氷に對して競争するに於ては既述の如き比較して低廉にあり茨城縣平潟助川その他必需品の提供に對し時とはなしに需用家の弱點に對し不満を感じつゝ尙の土地のみの繁榮にして何等の外植田町迄手を延ばして居る冷氷に於て値低廉に勿論供給に於ても甚だ不ざる鼻息を覗はざれば供給され等他に及ばざるものである此の製氷が一旦小名濱の満なるものあり泣かざるゝ者の苦痛は殆んど明言する知つて十を知らざるもので

福島縣平町
鹽屋山崎會社
電話 二七〇番

平城
共濟病院
電話 六四一

石炭の命派幾何もなくして漁業家にして取引されんか製氷の購入を敢行し平製氷盡きんとする本縣に於て此平製氷の打撃は非常のものとの優劣を實際に於て競争後縣の財源を得んとするなである。同會社の製氷が平製氷の賣す。求めねばならぬ即ち漁業の價より低廉にして尙且つ利敢へて識者の一考を煩すべ盛衰は延いて本縣幾人の利益を見ずば製氷株が最新式く一書を呈するものである(楚)

勿來町
皆川喜内

平町南町
上田外科醫院
電話 九二一

原町
岩崎清

福島縣桑苗同業組合
原町支部

平町新川町
上材木店
電話 六〇一

福島市柳町
福島酒造株式會社

好間村
菅野源四郎

平三業
保健組合
平町田町
高久病院
電話 五一

立花雄七
小名濱町
赤心堂病院
電話 四七五

小名濱支店
江尻甚太郎
小名濱町
日野ハナ
平町々會
議員一同

小宅金四郎
山家メリヤス店
移轉の披露

百澤商店
砂糖小麦粉油類株式會社
電話 一四二

自轉車オートバイ商
雙輪商會原町支店
電話 二二六

中之作鐵工所
主 吉田正雄
電話 九番四一

東京池貝鐵工所 特約代理店
中之作鐵工所

湯本信用無盡會社
電話 四七番

